

分析試験成績書

第107021594-001号
2007年(平成19年)03月01日

依頼者 株式会社
プロバイオインターナショナル

検体名 加納畜産 豚肉ロース No.2

試験区

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-8062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-8034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2007年(平成19年)02月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
水分	48.8g/100g			常圧加熱乾燥法
揮発性塩基窒素	5mg/100g			微量拡散法
アルギニン	1.45g/100g			アミノ酸自動分析法
リジン	2.05g/100g			アミノ酸自動分析法
フェニルアラニン	0.91g/100g			アミノ酸自動分析法
チロシン	0.80g/100g			アミノ酸自動分析法
ロイシン	1.84g/100g			アミノ酸自動分析法
イソロイシン	1.06g/100g			アミノ酸自動分析法
メチオニン	0.61g/100g		1	アミノ酸自動分析法
バリン	1.13g/100g			アミノ酸自動分析法
アラニン	1.27g/100g			アミノ酸自動分析法
グリシン	0.96g/100g			アミノ酸自動分析法
プロリン	0.84g/100g			アミノ酸自動分析法
グルタミン酸	3.50g/100g			アミノ酸自動分析法
セリン	0.91g/100g			アミノ酸自動分析法
スレオニン	1.06g/100g			アミノ酸自動分析法
アスパラギン酸	2.17g/100g			アミノ酸自動分析法
遊離システイン	検出せず	1 mg/100g		高速液体クロマトグラフ法
5'-イノシン酸	0.16g/100g		2	高速液体クロマトグラフ法
ヒ素(Asとして)	検出せず	0.1 ppm		原子吸光光度法
鉛	検出せず	0.05 ppm		原子吸光光度法
カドミウム	検出せず	0.01 ppm		原子吸光光度法
総水銀	検出せず	0.01 ppm		還元気化原子吸光光度法

(ドリップを除いて試験した。)

注1. 過ギ酸酸化処理後、塩酸加水分解し測定した。

注2. 5%過塩素酸で抽出した後測定した。

以上

本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

分析試験成績書

第107023528-001号
2007年(平成19年)02月27日

依頼者 株式会社
プロバイオインターナショナル

検体名 加納畜産 豚肉ロース No.1

対象区

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2007年(平成19年)02月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
水分	71.3g/100g			常圧加熱乾燥法
揮発性塩基窒素	7mg/100g			微量拡散法
5'-イノシン酸	0.10g/100g		1	高速液体クロマトグラフ法
アルギニン	1.11g/100g			アミノ酸自動分析法
リジン	1.55g/100g			アミノ酸自動分析法
フェニルアラニン	0.71g/100g			アミノ酸自動分析法
チロシン	0.62g/100g			アミノ酸自動分析法
ロイシン	1.41g/100g			アミノ酸自動分析法
イソロイシン	0.81g/100g			アミノ酸自動分析法
メチオニン	0.51g/100g		2	アミノ酸自動分析法
バリン	0.87g/100g			アミノ酸自動分析法
アラニン	0.99g/100g			アミノ酸自動分析法
グリシン	0.77g/100g			アミノ酸自動分析法
プロリン	0.67g/100g			アミノ酸自動分析法
グルタミン酸	2.67g/100g			アミノ酸自動分析法
セリン	0.69g/100g			アミノ酸自動分析法
スレオニン	0.80g/100g			アミノ酸自動分析法
アスパラギン酸	1.65g/100g			アミノ酸自動分析法
遊離システイン	2mg/100g			高速液体クロマトグラフ法
ヒ素(Asとして)	検出せず	0.1 ppm		原子吸光光度法
鉛	検出せず	0.05 ppm		原子吸光光度法
カドミウム	検出せず	0.01 ppm		原子吸光光度法
総水銀	検出せず	0.01 ppm		還元気化原子吸光光度法

(ドリップを除いて試験した。)

注1. 5%過塩素酸で抽出した後測定した。

注2. 過マンガン酸酸化処理後、塩酸加水分解し測定した。

以上

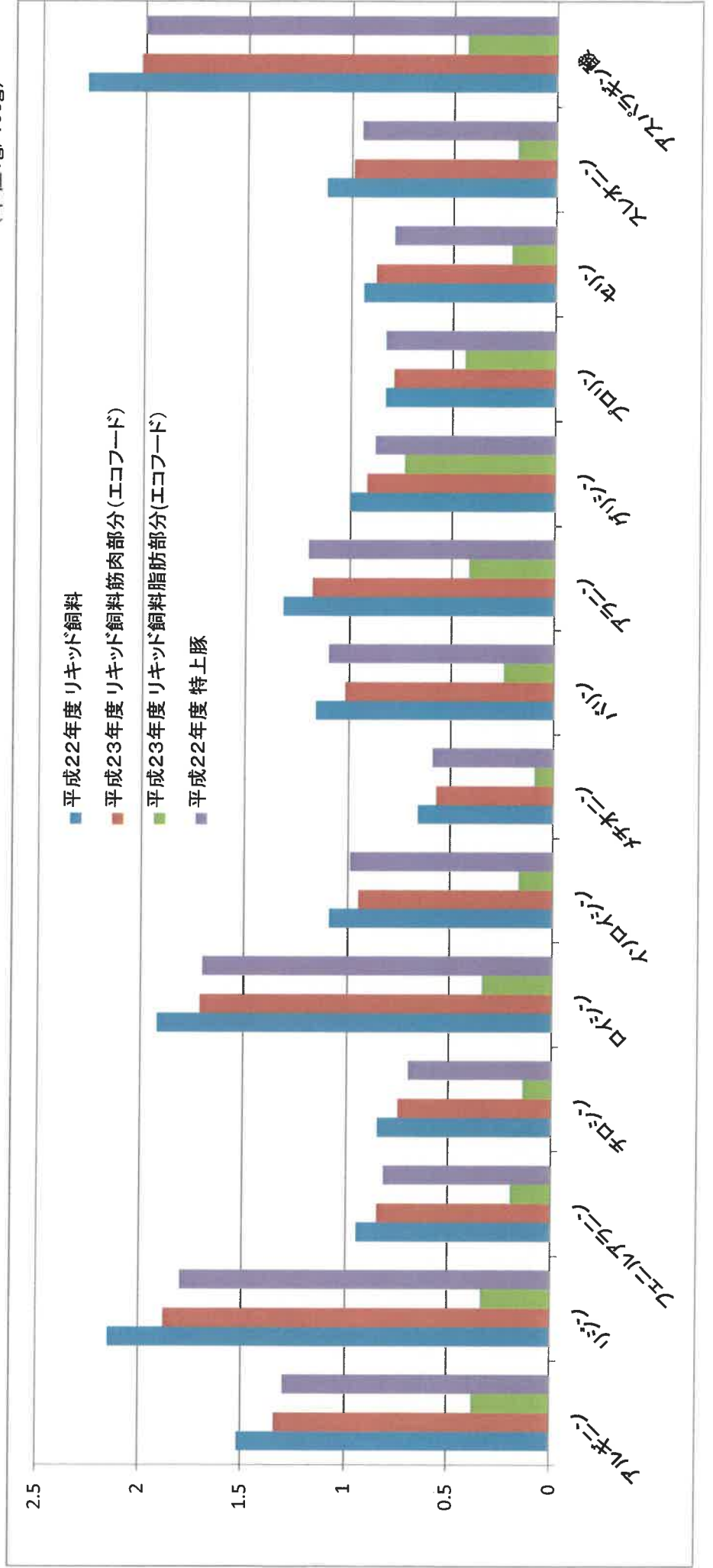
本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

加納畜産 豚肉口ーヌ成分表

* (財)日本食品分析センターにて分析 生肉
 (平成22年度第10100039001-02号・平成23年度11005847001-01号、-02号)

試験項目	平成22年度 リキッド飼料	平成23年度 リキッド飼料筋肉部分(エコフード)	平成23年度 リキッド飼料脂肪部分(エコフード)	平成22年度 特上豚
アルギニン	1.52	1.34	0.38	1.3
リジン	2.15	1.88	0.338	1.8
フェニルアラニン	0.95	0.85	0.195	0.82
チロシン	0.85	0.75	0.138	0.7
ロイシン	1.92	1.71	0.34	1.7
イソロイシン	1.09	0.95	0.165	0.99
メチオニン	0.66	0.57	0.091	0.59
バリン	1.16	1.02	0.244	1.1
アラニン	1.32	1.18	0.417	1.2
グリシン	1	0.92	0.734	0.88
プロリン	0.83	0.79	0.44	0.83
セリン	0.94	0.88	0.214	0.79
スレオニン	1.12	0.99	0.189	0.95
アスパラギン酸	2.28	2.02	0.437	2

(単位:g/100g)



環境+農業+食+乳酸菌が守る食の安全と旨さ

(株) SKY・ライフ

(株) 松井三郎環境設計事務所



飼料に抗生物質を使用しない飼育

問題点

腸内悪玉菌の増殖・免疫力の以上低下
病原性発現、毒性の産生・発現・下痢、死亡

このような問題に遭遇

403アルファラクトを飼料に配合

植物由来の乳酸菌である403アルファラクトは強酸性に強いので生きたまま腸に到達、悪玉菌を抑制し、善玉菌が増え、腸内が活性化し病気に罹りにくい事が期待できます。

飼料コスト削減

商品価値アップ

臭気軽減

株式会社スカイ・ライフ

株式会社松井三郎環境設計事務所

〒529-1835 滋賀県甲賀市信楽町中野 641-144

TEL0748-82-2119 FAX0748-82-0400

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-64-1939 まで